

平成28年10月11日  
 四国電力株式会社

## 伊方発電所における通報連絡事象（平成28年9月分）および 通報連絡事象に係る報告書の提出について

平成28年9月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の2件です。これらの事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所1、2号機 放水口水モニタの指示上昇について	9月22日	-	C
2. 伊方発電所3号機 制御用空気圧縮機3Aの配管フランジからの空気漏れについて	9月26日	-	C

過去に発生した以下の通報連絡事象について、その後の調査結果を踏まえた原因と対策をとりまとめ、愛媛県ほか関係自治体に報告書を提出いたしました。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所 九町越守衛所他の火災受信機盤等の不具合について	6月20日	7月11日	C

県の公表区分 A：即公表  
 B：48時間以内に公表  
 C：翌月10日に公表

- (別紙1) 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成28年9月分）
- (別紙2) 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

以 上

## 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成 28 年 9 月分）

## 1．伊方発電所 1、2号機 放水口水モニタの指示上昇について

9月22日5時40分に、伊方発電所1、2号機放水口水モニタの有意な指示上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所周辺は雨が降っていたこと、放水口内の海水を採取して分析した結果、人工核種は検出されなかったことから、降雨による自然変動と判断しました。

（参考）伊方発電所1、2号機放水口水モニタ

伊方発電所1、2号機放水口内の海水の放射線量を測定しているモニタ。3号機にも同様の放水ピット水モニタがある。

## 2．伊方発電所 3号機 制御用空気圧縮機 3 Aの配管フランジ部からの空気漏れについて

9月26日11時25分頃、通常運転中の伊方発電所3号機の原子炉建屋（管理区域外）において、保守員が制御用空気圧縮機 A号機の配管フランジ部からの空気漏れを確認しました。

その後の調査において、当該配管フランジ部のパッキンの割れおよび漏えい跡を確認したため、当該パッキンの取替えを実施し、制御用圧縮機 A号機の確認運転を行い、空気漏れが無いことを確認し、9月29日9時27分、通常状態に復旧しました。

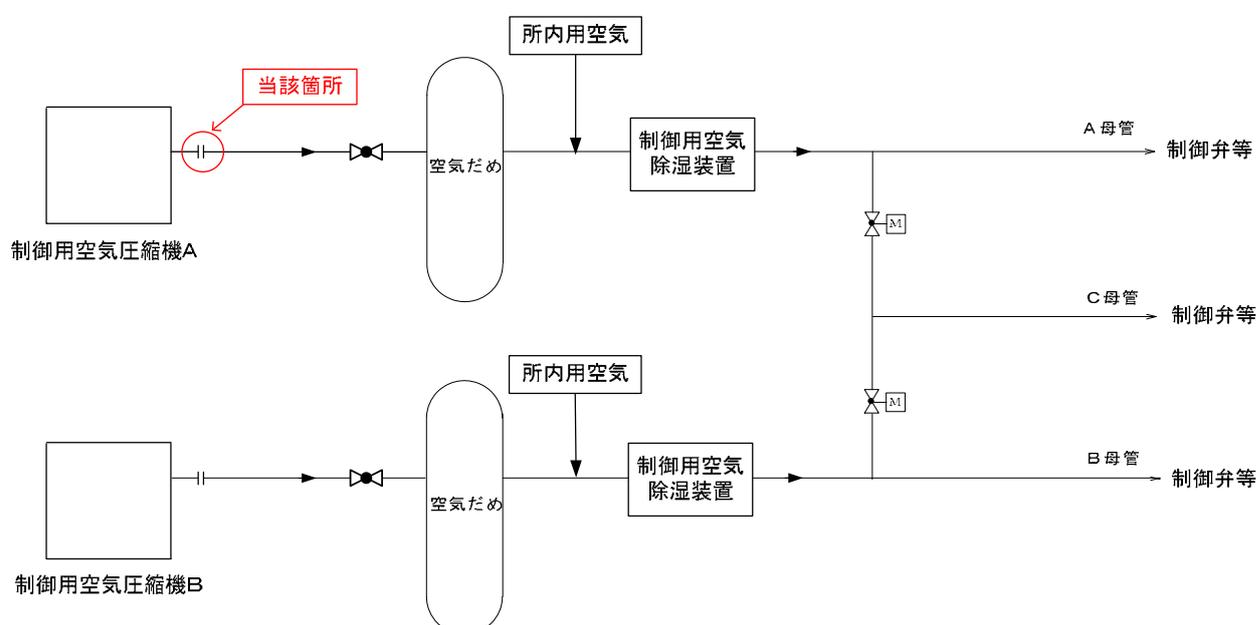
本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありませんでした。今後、当該フランジ部から空気が漏えいした原因について、詳細に調査します。

## 制御用空気圧縮機

プラント各部の空気作動の制御弁などに圧縮空気を供給する設備。

当該空気圧縮機は2台設置しており、通常、そのうち1台を運転している。

伊方発電所 3号機 制御用空気圧縮機概略図



## 伊方発電所における通報連絡事象の報告書概要

## 1. 伊方発電所 九町越守衛所他の火災受信機盤等の不具合について

## 事 象

6月20日、伊方発電所の九町越守衛所火災受信機盤において、火災受信機盤の交流電源の異常を示す信号を確認しました。

調査の結果、関係する火災受信機盤および信号ケーブルの異常を確認したため、当該設備の取替えを実施し、6月21日16時05分に通常状態に復旧しました。

## 原 因

調査の結果、本事象発生時は、伊方発電所付近で落雷が多発していたことから、各火災受信機盤に接続されている配線より雷サージが侵入し、火災受信機盤内部品の仕様を超える大きな電流および高い電圧が加わったことにより、故障に至ったと推定しました。

## 対 策

- ・当該火災受信機盤の取替えおよび正常な信号ケーブルへの接続を行い、正常に動作することを確認し、通常状態に復旧しました。
- ・落雷による万一の故障に備え、速やかな対応を行うために、引き続き、火災受信機盤の予備品を常備します。

伊方発電所 九町越守衛所関連火災受信機 信号概略図

